

NEWS RELEASE

2019年1月4日

三重県松阪市京町510番地
株式会社 第三銀行

2019年 年賀式での「頭取年頭訓示」について

株式会社第三銀行（頭取 岩間 弘）は、別紙の通り 2019年「年賀式」を行い、頭取より年頭の「訓示」がありましたのでお知らせいたします。

記

1. 年頭訓示内容

別紙「年頭訓示（要約）」をご参照下さい。

※頭取の年頭訓示は全店（96か店）に配布し、朝礼にて支店長が代読をいたしました。

2. 年賀式

- （1）日 時 2019年1月4日（金） 午前8時45分
- （2）場 所 当行本店 3階 大会議室
- （3）出席者 役職員 約150名
- （4）式次第 経営理念の唱和
年頭訓示

以 上

[お問い合わせ先]

担 当	総合企画部 広報課	須 賀	0598-25-0363
-----	-----------	-----	--------------

キラリと光るあなたの銀行

年頭訓示（要約）

皆さん、明けましておめでとうございます。

こうして健やかに皆さんと新年を祝うことが出来ますことを、大変嬉しく思います。

さて、昨年国内経済は、一昨年に続き堅調な海外経済や為替相場の円安などの追い風が吹くなか、雇用・所得環境が消費を支え、設備投資も底堅く推移し、概ね好調を維持しました。

三重県では、東芝メモリ四日市工場の大規模新棟が竣工したのをはじめ、松阪市にゲスタンプ・ホットスタンピング・ジャパンの日本初の工場がオープンするなど、県内外企業の新工場建設計画が続々と発表されたほか、雇用についても全国水準を大きく上回るなど、明るい話題が続きました。

このように、昨年を通してみると概ね好調を維持した我が国でありましたが、年末にかけて、米中貿易摩擦やイギリスのEU離脱問題など、海外リスクが高まり、金融市場は不安定な動きとなりました。

私たち地域金融機関を取り巻く環境は、マイナス金利政策が長期化する中、資金運用環境が厳しく、年末の金融市場の不安定化を踏まえると、今後も当分の間厳しい環境が続くものと思われます。環境変化に着実に対応しつつ、地域における金融仲介機能の発揮と収益力強化のため、更なる努力が求められています。

さて、昨年4月2日に三重銀行と経営統合し、三十三フィナンシャルグループを設立して9ヶ月が経ちました。経営統合後、両行が協働して地域でのプレゼンスをこれまで以上に発揮し、「質の高い地域ナンバー1金融グループ」となるために、様々な取組みに着手しています。

具体的には、三重銀行とのATMの時間外手数料の無料化や振込手数料の相互割引をはじめ、遺言代用信託「託す想い」などの共同商品の開発、ビジネスプランコンテストや各種キャンペーン・セミナーの共同開催など、お客様へのサービス向上に取り組んできました。

また、お互いが持つ専門的なスキルを相互に吸収するための人材交流も着実に進んでいます。今後も両行の役職員が相互に理解を深め、こうした相互交流を加速させていきたいと思えます。

昨年の干支である「戌」は、たわわに実った果実（作物）を刃物で刈り取りひとまとめに締めくくることを表し、収穫した状態にあることを意味しているとお話しました。今年の干支である「亥」は、十二支の中でも最後の年で、「戌」の年でたわわに実った果実が種子となり、エネルギーを蓄えて次の世代へと向かう準備をするという意味を表すそうです。

これを三十三フィナンシャルグループに当てはめると、昨年は、第三銀行と三重銀行がこれまでの歴史の中で培ってきた営業基盤をしっかりと一つにまとめ、持株会社の下での経営統合という形で収穫した年であったと言えます。そして今年は、次のステップとして、真に1つの銀行になるために、エネルギーをしっかりと蓄えて次世代へ向かうための準備を本格化させる年であると言えます。

私も皆さんの先頭に立ち、明るく前向きに、そして全力で取組んでまいります。本年が三十三フィナンシャルグループにとって、更なる飛躍の年となることを心から祈念いたしまして年頭の挨拶といたします。

以上